

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第1部門第2区分
 【発行日】令和5年6月6日(2023.6.6)

【公開番号】特開2023-26687(P2023-26687A)
 【公開日】令和5年2月24日(2023.2.24)
 【年通号数】公開公報(特許)2023-036
 【出願番号】特願2023-1419(P2023-1419)
 【国際特許分類】
 A 6 3 F 7/02(2006.01)
 【FI】
 A 6 3 F 7/02 3 1 2 Z

10

【手続補正書】
 【提出日】令和5年5月29日(2023.5.29)
 【手続補正1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】
 【請求項1】

入賞口に遊技球が入球可能な開放状態を構成する可動入球手段と、前記可動入球手段の入賞口に入球した遊技球を前記可動入球手段内に設けられた特定領域を通過させた上で排出するか若しくは前記特定領域を通過させることなく排出するかの振り分けを行う振分手段とを備える遊技機において、前記可動入球手段に所定間隔よりも短い間隔で入球した遊技球を全て特定領域へ誘導し易い態様で構成される複球誘導手段を備えることを特徴とする遊技機。

【手続補正2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0002
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0002】

30

パチンコ機等の遊技機において、遊技領域に入賞口を備え、その入賞口に遊技球が入賞可能な遊技機がある(特許文献1)。

【手続補正3】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0004
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0004】

40

しかしながら、上述した従来遊技機では、入賞口へ流下してからの遊技球の流下について改良の余地があるという問題点があった。

【手続補正4】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0005
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0005】

50

本発明は、上記例示した問題点を解決するためになされたものであり、入賞口へ流下した遊技球が良好に流下する遊技機を提供することを目的とする。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

この目的を達成するために請求項1記載の遊技機は、入賞口に遊技球が入球可能な開放状態を構成する可動入球手段と、前記可動入球手段の入賞口に入球した遊技球を前記可動入球手段内に設けられた特定領域を通過させた上で排出するか若しくは前記特定領域を通過させることなく排出するかの振り分けを行う振分手段とを備える遊技機において、前記可動入球手段に所定間隔よりも短い間隔で入球した遊技球を全て特定領域へ誘導し易い態様で構成される複球誘導手段を備える。

10

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

請求項1記載の遊技機によれば、入賞口へ入球した遊技球の流下を良好にすることができる。

20

30

40

50